



クリスマスのひかり

12月の保育で大切にしていることのひとつに「イエス様もお誕生をお祝いする」ということがあります。これから起きる事への期待、希望、願いを抱く。音楽や飾りなど美しいものに囲まれる。楽しみだね、綺麗だねと目を合わせ、心を通わす関係。その様子が周囲の人をも笑顔にし…いろいろなかたちでクリスマスを楽しみに待つアドベントを過ごしています。

アドベント礼拝では、クリスマスのお話の中で登場人物の背景や気持ちも伝えています。クリスマスは「大丈夫、神様はずっとわたしたちのそばにいて愛しているよ」という良い知らせを現すためにイエス様がお生まれくださったことを喜び、お祝いする時です。神様は、イエス様という光を通してすべての人を照らすと約束されました。そしてクリスマスの日、誰も知らない貧しい馬小屋で、過酷な野宿をする羊飼いや遠い外国の博士は、立場や所属に関係なくイエス様の光に照らされ、喜び溢れたのです。

光の園保育学校の創立者の賀川先生は、若い時に肺結核を患って生死の境をさまよい、神様や尊敬する人々との出会いを通して愛を知りました。残された生涯をどのようにすごすか考えた時、貧困に苦しむ人々のために仕えようと決心して1909年12月24日に神戸のスラムに移り住み、キリスト教の伝道と、そこに住む人々のために考えられる様々な事業を行いました。もしも自分が絶望的に感じている時に、誰かがそばに来て手を差し伸べてくれたらどんなに嬉しことでしょう。良い時も悪い時もそばにいて私たちをひとりぼっちにしないために、人々が共に手を取り合うことができるように、イエス様はお生まれになりました。

保育園では、光に照らされたこどもたちがお友達にその光を分け与える姿が見られます。誰かが近くで理解し支えてくれたり、一緒に笑ったり遊んだり、様々な場面でこどもたちの間に愛が現れていると思います。これからも、まことの光に照らされたこどもたちが、まわりの人を明るく照らす存在となりますように。わたしたちが、世界の人と共に生きることができますように。

園長 佐々木奈津絵

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである（ヨハネによる福音書1章9節）

<12月の予定>

- 2日(火) 避難訓練
- 4日(木) 誕生会
- 9日(火) 総合練習①
- 10日(水) クリスマス礼拝0歳
- 11日(木) 総合練習②
- 12日(金) クリスマス礼拝1～3歳
- 13日(土) クリスマス礼拝4・5歳
- 20日(土) 1年生の会
- ※年間予定の日程から1～3歳のクリスマス礼拝は変更になっています。

◇保育園の年末年始のお休みについて
12/28(日)～1/4(日)はお休みです。
1/5(月)より開所致します。

第三者評価のアンケートを配布しています。

『東京都福祉サービス第三者評価機関
特定非営利活動法人 市民福祉ネットワーク多摩』
に依頼をしています。

保育の質の向上の為にもご協力お願い致します。

12/11×切

The diagrams show a sequence of five circular cells. The first cell has a single, large, yellow nucleus. The second cell has a smaller, reddish nucleus. The third cell has a large, reddish nucleus with a white, circular nucleolus. The fourth cell has a small, yellow nucleus. The fifth cell has a large, reddish nucleus with a white, circular nucleolus.

言葉の育ち方も、ひとりひとり、ゆくりと、まっすぐにその子らしい「言葉の木」がしっかりと根を張って育っている事が感じられます。これからいろいろな成長の葉、ばがえられる事を楽しみにしています。



子どもたちがしっかりと主張してくれた時、保育者はその都度、それぞれの気持ちを代弁して「かして、だったね」「今のいやだったね、やだよ、だね」「つかってるよ～だよ」などその時に必要な言葉を伝えてみえています。保育者が伝えてもやっぱり「いやだ～」と泣くことはしょっちゅうです。しかし最近、保育者が「いま〇〇ちゃんやってたみたい」などと代弁をしていると、泣いていた涙をひっこめて耳を傾けてくれるようになってきました。まるで、泣くのをやめて一緒に自分の気持ちを伝えているかのようです。このように、泣くだけでなく、保育者を通して自分の気持ちを伝えようとする姿も出てきています。また、中には保育者の言葉を反復して「か～し～て」「や～だ～よ～」など頑張ってしまう姿もあります…！今は自分の気持ちを知って表現する時期。一生懸命に表現している子どもたちの気持ちをしっかりと受け止めて、代弁し、言葉を知るきっかけにもなるよう見守っていきたいと思います♪

「おにぎりとかつけようね」

最近園庭ではお山作りがブームです。「先生、お山作るよ」と何故か決定事項のようになっているのですが、途中「おにぎりとかつけようね」と声をかけられます。よく分からず「おにぎりみたいなお山にするのね」と答えると「ちがうよ！おにぎりのおもちゃくっつけるの」と指摘されました。そのおにぎりとは、砂用の型抜きのことでした。

実は作った山に型抜きなどのおもちゃをたくさんつけて装飾することまでが山作りの一連の流れになっているのです。山ができるとそれぞれ好きなおもちゃを飾るのですが、おもちゃ入れのカゴの中身がほぼ空になるほどなのです。



初めは数名で装飾開始！

少しずつ人数が集まり、装飾が豪華に！



気付くと山ではない部分にも飾りが。
そしておもちゃのカゴの中はほぼ空に。



ほぼ空になってしまったおもちゃを入れるカゴ。これは片付けにかなり時間がかかるぞ…と長期戦を覚悟した保育者一同でしたが、片付けの声をかけると一斉に取り掛かる子どもたち。少なくとも15分くらいはかかっていたものが、約5分で片付け終わる様子に、思わず拍手を送ってしまった程です。

しかし山を踏んで壊す工程は捨てきれず、やはり予想通り15分はかかってしまうので、一緒になって山を壊す作業を楽しむしかない保育者なのでした。

ちゅうりっぷ組
(3歳児)

「わらしべ長者」

急に秋が深まり、落ち葉や木の実をたくさん集められるようになりました。最近の子どもたちは、落ち葉や木の実を使ってお料理をしたり、きれいに並べてパーティーをして楽しんでいます♪

先日若宮公園へ遊びに行った時の出来事です。女の子たちがツヤツヤした木の実を集めていて、宝石のようでとてもきれいでした。Aさんがそれを見て「ひとつちょうだい」と言ってみましたが、女の子たちは大事にしているので断ります。するとAさんは、木の枝を拾ってきて「交換しよう」と交渉を始めます。それも断られると、近くにいたBさんが持っていた石と枝を交換してもらいます。そしてCさんが持っていた大きな落ち葉と石を交換してもらい、その大きな落ち葉を持って、女の子たちのところへリベンジ！見事、落ち葉と木の実を交換してもらえたAさんでした。その様子はまるで「わらしべ長者」のようでした。子どもたちは「わらしべ長者って…？」とハテナだったので、絵本をみんなと読んでみたいと思っています。

作：杉山 亮

絵：高畠 那生

出版社：小学館



ばら組
(4歳児)

業10に乗りました♪♪

散歩の行き先を相談する毎日。4月当初から若宮公園、業平公園、三ツ目公園に混ざって、数名の子どもたちから「木場公園！！」という声があがっていました。お家の人と行ったことがあるAさんは木場公園がどんなに楽しいのかを話してくれます。それを聞いて木場公園への思いが膨らむ子どもたちでしたが、いつも散歩に出発する10時頃に保育園を出て、みんなの足で歩いていくと木場公園に着いたら全然遊べないですぐに帰って来ないとお食事に間に合わないよ～と話すと、そうか～と断念。担任は『木場公園！』の声が出始めた頃から、どうにかみんなで木場公園に行きたい、行かせてあげたいと思い、子どもたちに内緒で木場公園まで下見に行ったり、都営バスについて調べたり、東京交通局に問い合わせたり、お手紙を作ったり…水面下では動き出していました。そんなある日、Bさんが「遠足で行けばいいじゃん」とひと言。担任は、「そうだね！遠足だったら行けるかもしれないね～」とBさんの発言に感心を装いながらも（ついに子どもから遠足のワードが出たー！！）と心の中でガッツポーズ！！そこからは、日々子どもたちとどうやったら遠足で木場公園に行けるのかを考えていきました。子どもたちからは、都営バスで行けるよ、バスは業10に乗ると行けるよ、でもばら組みんなで乗ったら多すぎるよね、などの意見も。（最初から都バスは2グループに分かれて乗るつもりではいましたが…）何度かみんなでバスに乗る東駒形三丁目のバス停まで行って見て都バスを見送ったりしましたが、降りるバス停はどこ？となり、それには木場公園のどこで遊ぶかを決めなければならないということに。行ったことのある子どもたちから『南の冒険広場』が強く推され、Cさんの「ターザンロープがあるんだよ！」の言葉でほぼ満場一致で決定しました。そして、南の冒険広場に行くためには木場四丁目で降りることもわかったのです。子どもたちのワクワクが最高潮に達するのに反比例して、保育者たちの不安は募って行き、公共交通機関を使おうと考えたことをチラッと後悔したり(笑)

そして迎えた当日。お天気にも恵まれ、南の冒険広場でたくさん遊んで、小春日和の芝生広場で美味しいお弁当を食べて無事に帰ってきました。都バスの中では行きも帰りも下町の人情に触れ、席を譲っていただいたり、温かい眼差しで見守っていただいたり、たくさん感謝をする一日となりました。



ゆり組
(5歳児)

ページェントにむけて…☆

去年のページェントDVDを観て数日後、子どもたちに「ページェントごっこでやってみたい役」を聞きました。それから実際に希望する役を演じてみて再度、演じたい役を子どもたちに決めてもらいました。その間に「〇〇にしたけれど、やっぱり〇〇に変える！」という子どもが後を絶たず、迷ったり、悩んだりしている様子が伺えました。そして最後まで決まらなかったのが、マリアでした。希望者が3人いたのでその3人を集めて、どうやって決めるかを話し合いました。Aさんが「去年はマリアをやってみて、どのマリアがいいかみんなに選んでもらったみたい。」と教えてくれました。Bさん、Cさんは「それはちょっと嫌だな。」とのこと。「まず、マリアのセリフを覚えることから始めてみない？」と保育者が提案すると、「家で覚えてくる！」と意気込んでいました。それから数時間後に、覚悟が決まったのか、3人とも「みんなの前でやってみる！」と前向きな返事がありました。そしてマリア披露の当日、緊張していて足や声が震えている人もいる中、みんな立派に演じ切り、見守っていたみんなが温かい拍手をしてくれました。結果は、僅差でAさんに決まり、マリアになれず悔しくて泣いていたBさんに何人かがそっと寄り添い、なぐさめていた姿が印象的でした。

いよいよ礼拝堂でのページェント練習が始まりました。初回はセリフをまだ覚えていないのもあり自信がなく小さい声でしたが、2回目には少し覚えたセリフを自分で言ってみようと挑戦する姿も見られました。歌うことが好きなゆり組のみんななので、讃美歌はバッチリです！これから回数を重ね、どんな姿に変わっていくのか、当日どんな生誕劇をみせてくれるのかとっても楽しみです。流れやセリフの確認をしたいということで、希望者には台本を渡しています。家で練習する姿もあると思いますが、どうぞお付き合ってくださいませ…☆寒くなってきたので、体調を整え、みんなで元気に当日を迎えたいですね。

もも組
(1歳児)

❀ にぎやかさんぽ ❀

急に寒さが身に染みるようになりましたね。でも、もも組の子どもたちは「散歩行く？」と聞くと「行く行く、やったー！」と大喜び。身支度も率先してしています。バギーの時は、自分で乗り込むタイプの方が人気。歩く時は、友だちと手を繋いで「歩く」と主張しています。「あっ、工事してるよ。あれはなあに？」「クレーン車だよ」「クレーン車、おおきいねえ」「昨日パパと公園行ったの」「〇〇ちゃんはママと、ねえねと行ったよ」「あっ、鳥が飛んでる！いっぱい！」と、もも組散歩はお話が途絶えません。子どもたちの成長を感じながら、私たち保育者もたくさん子どもとのおしゃべりを楽しんでいます。



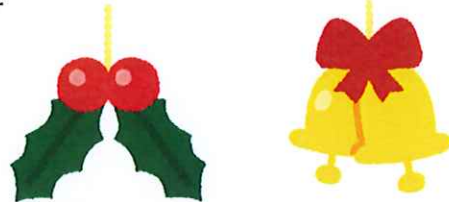
ほけん

スキンケアで防ぐ！アレルギー

寒い時期になると肌の乾燥が気になりますね。子どもは肌の水分量が多くて何もしなくてもよいイメージですが、保湿の習慣がないと子どもも乾燥します。乾燥した皮膚はバリア機能が低下しています。この状態の皮膚に食べ物やハウスダストが触れると、アレルギーの原因物質となるアレルゲンが皮膚を通過して体内に侵入し、アレルギーをおこしやすくなります。意外なことですが、アレルゲンは口から食べるよりも皮膚で触れるほうがアレルギーを誘発しやすいと言われています。

そのためただ乾燥しているだけと侮らず、むしろ子どもほどしっかりと保湿をしてアレルギーを予防しましょう。

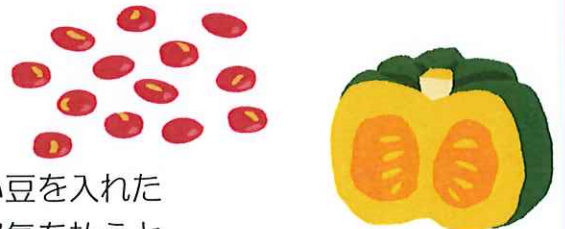
特に口の周りは乾燥しやすく食べ物がつきやすい部分です。普段から口の周りを清潔にして保湿するように心がけましょう。



おしよくじ

冬至の食べ物

寒さが一段と厳しくなる季節になりましたね。12月22日は「冬至」です。一年のうちに日の出から日没までが最も短いのが冬至です。冬至には「ん」がつくものを食べると「運」が呼び込めると言われています。「だいこん」「にんじん」「れんこん」「うどん」「かぼちゃ（なんきん）」などを食べて縁起を担ぎましょう。



【冬至がゆ】

冬至に食べられるものとして知られているもので、小豆を入れた「おかゆ」のことで、小豆のような「赤い食べ物」が邪気を払うと考えられているので、冬至に食べて厄除けをします。今年の冬至はぜひ「冬至がゆ」を食べて、暖かく過ごしてみたいはいかがでしょうか？



☆劣化したバーコードを交換します！☆

パウチが剥がれてバーコードリーダーに通りにくくなっていたら新品と交換いたします。

ご希望の方は担任か事務所に声をかけてください。

尚、古いカードとの交換になります。

今月のやまびこはありませんでした。

<お願い>

園前のスロープは道路に面していて危険ですので、お迎え後は遊ばずすみやかに帰ってください。

おひさま★ぶんど

～クリスマス・キャロル～

世の中には、幸せを感じることに、喜びを与えられることがいくつもありますよ。
金儲けになるとは言いませんがね。クリスマスはその最たるものです。

クリスマスは喜びの時です。

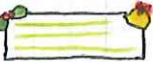
入がみな優しく大らかで慈しみの心をいただくようになる嬉しい季節です。

「クリスマス・キャロル」作、ディケンズ / やく、池央耿(光文社)

クリスマスの頃になると、古い映画のDVD「クリスマス・キャロル」が観たくなります。

子どもの頃、VHSのテープがのびるほど繰り返し観たこの映画は、アルバート・フィニー主演の1970年のものでした。

今年もDVDを観ましたが、久しぶりに原作の小説も読みました。



は、物語の冒頭場面の主人公の気むずかしいスクルージのもとで働くクラチウィッチさんの言葉です。

いつの日からか、お金はあるけれど日に日に卑屈さを増し、町中の人々から疎まれていたスクルージのところに三人の霊がやってきて、過去、現在、そして不吉な未来を見ることで自らの行いを省みるというストーリー。

ミュージカル映画を観すぎた故に、原作を読んでいても全ての場面の色や形や声、そしてそこにはないミュージカルナンバーさえも聴こえてきてしまいます。

しかしスクルージのほとんど消えかかっていた心のともしびが再び豊かであたたかい明りへと導かれていく心の流れは、原作にこそ秘められていました。

おひさま文庫には多くのクリスマス絵本が並べてあります。

どのお話もクリスマスツリーに飾りが増えていく時のように、心をあたたかくしてくれる言葉が綴られたものばかりです。

おひさま文庫に入って左手のたながクリスマス絵本コーナーです。

ぜひあなたにとって、とっておきのクリスマス絵本をさがしにいらして下さい。



ミュージカル映画の中に
出てくる少年ティムの歌声が
美しいのです



今月の大切にしていること

12月

0歳児 つぼみ組

- ・イエス様のお誕生をお祝いする。
- ・暖かい日は戸外あそびを楽しむ。

1歳児 もも組・さくら組

- ・イエス様のお誕生をお祝いする。
- ・暖かい日は戸外であそぶ。

2歳児 たんぽぽ組・すみれ組

- ・イエス様のお誕生をお祝いする。
- ・戸外あそびやごっこあそびを通して保育者や友だちと言葉のやりとりを楽しむ。

3歳児 ちゅうりっぷ組

- ・イエス様のお誕生をお祝いする。
- ・友だちとイメージを共有し、ごっこあそびを楽しむ
- ・戸外で身体を動かしてあそぶ。

4歳児 ばら組

- ・イエス様のお誕生をお祝いする。
- ・身近な自然の変化や社会に興味や関心を持つ。
- ・思ったこと感じたことなどを伝え合い、友だちと共通の目的をもってあそぶ。

5歳児 ゆり組

- ・イエス様のお誕生をお祝いする。
- ・目的に向かって友だちと協力しながら活動に取り組んでいく。